

1-14 日本の3大生産県はどこ

- ①千葉県、鹿児島県、宮崎県
- ②千葉県、静岡県、青森県
- ③千葉県、茨城県、神奈川県

とりあえず千葉県は誰でもあげると思い、いずれのグループにも入れておきました。実際千葉県の収穫量は2018年度で全国の83%あまりの13,000tとなっています。全国では15,600tです。全国の収穫量は1960年代が最も多く、それ以降は減少しています。この要因としてはいろいろありますが、生産面では連作障害の多発、流通面では安価な海外(特に中国)からの輸入の増加があり、収益性が低下していること等があげられています。

収穫量の第2以下の順位はつぎのとおりです。茨城県1530t(9.8%)、神奈川県281t(1.8%)、鹿児島県153t(1.0%)、栃木県116t(0.7%)。つまり正解は③です。

ちなみに、収穫量の最も多かった1963年では、全国で144,000t、千葉県は56,100t(39.0%)、茨城県42,000t(29.2%)、神奈川県4,550t(3.2%)、鹿児島県1,010t(0.7%)、栃木県9,280t(6.4%)の収穫量となっており、産地が分散化し全国で作られていました。なぜ、千葉県と茨城県に近年生産が集中するようになったのか、その要因には興味がある一方で、落花生は全国でつくることができる作物であったことを知っていただきたいと思います。

土壌のクリーニングや肥沃化に役立つ等様々な利点を持つ落花生が、これから全国的に復活し、レアな新品種がそのために少しでも貢献できればうれしい限りと筆者は考えています。

正解 ③